

【内容確認用】

平成27年度 第3回平田地域協議会 会議録（要約）

1. 日 時／平成27年11月10日（火）午前9時30分～午後12時00分
2. 場 所／平田総合支所 302号室
3. 出席者／
 - (1) 1号委員（団体推薦委員）
岩間政幸委員、阿彦健委員、菅原長昭委員、長谷部信勝委員、
後藤純委員、久松司委員、長谷部耕次委員（会長）、
池田知子委員、阿曾彰委員
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・計 9名
 - (2) 2号委員（識見委員）
阿部重敏委員、石黒由香委員（副会長）、高橋栄子委員、佐藤鐵喜委員
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・計 4名
 - (3) 3号委員（公募委員）
藤原幸雄委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・計 1名
 - (4) 酒田市
酒田市役所 永田斉地域振興調整監、
齊藤正人政策推進主査兼地域振興主査、
松永隆政策推進主査兼大学連携主査、
佐藤陽介政策推進係主事
平田総合支所 阿部亨支所長兼地域振興課長、佐藤栄一建設産業課長、
地域振興課 富樫好課長補佐、太田英一地域振興係主任・・・計 8名
出席者合計22名
4. 欠席届／佐藤みさ子委員、欠席者合計 1名
5. 次 第／
 1. 市民憲章唱和
 2. 平田地域協議会
 - (1) 開会
 - (2) 会長あいさつ
 - (3) 支所長あいさつ
 - (4) 会議録署名委員の選任
 - (5) 協議
 - ①過疎地域自立促進市町村計画（過疎計画）の策定について
※現行過疎計画（平成22～27年度）進捗状況確認表
・・・資料 1

※次期（平成28～32年度）過疎計画に新たに盛り込む事業一覧

・・・資料 2

②新市建設計画の変更（計画期間延長）について

※新市建設計画新旧対照表

・・・資料 3

※現行新市建設計画本文

・・・参考資料

③平成28年度 平田地域づくり予算について

・・・資料 4

④地域課題について

※平田地域協議会から出された意見・提言に関する対応調査

・・・資料 5

(6) その他

(7) 閉会

6. 会議録／ (1) 開会

▶富樫地域振興課課長補佐

これより平成27年度第3回平田地域協議会を開会します。

よろしく申し上げます。

(2) 会長あいさつ

▶長谷部会長

皆さん、おはようございます。

秋の収穫も見たとおり、無事終了されて農家の方々もホッとしているんだと思いますけれども、なかなか社会評価によりますと、この農業情勢は安定をしていないという不安の秋であるのかなと思います。

我々もこの月で、県の方で2回ほど会議がありましたけれども、いずれの会議においてもTPPというものの農家を問わず、他の産業、どちらにしても様々な面において影響があるだろうという不安の声はいずれにしても聞こえてきますね。

特に我われ庄内は農業を基幹産業とする地域でありますので、このへんの捉え方はよその地域とちょっと違うんじゃないのかな、と私は考えて受け止めております。

そうした中で今日、ここに地域協議会3回目を開催する事にしました。

皆さんの資料にある通り、1番から4番までの大きな振り分けになっております。

この協議会は、28年度に対する過疎計画の様々な分野において議論される時期に来ております。

新しい過疎計画、それから現在また、やって来た過疎計画の見直し。

それから28年度に対する、予算の計上の現在、ヒアリングをされていて、12月議会でそれなりの形を作り、新年度予算の4月で予算決定と、議会でこういうふうな流れになって行きますので、その流れに入る我々の協議も少しは重大な局面を迎えているのかな、と、こんなふうを考えております。

後ほど執行部の方から、それぞれの説明があると思いますけれども、その説明の中で皆さん方から地域、地域の、それから諸団体のありようというものを判断して意見を述べていただければありがたいと思います。

それから、最後の方に出てきますけれども、これまで10年間の地域協議会で行政に出された、様々な分野における現状時点でどうなっているかというのを事務局で精査をして一覧表にまとめてありますので、これも今後、どういう扱いにするのか、やはりそこでポイント、ポイントを引き出して、どうしてもこれはこういう形で持って行くのだと、言いつ放し、聞きつ放しではない、それなりの結論を得ることをして行かないと、住民に対する期待感に応える事は出来ないんだと思います。

ですから大小は問わず、どんなことでも一つ一つ答えを出していくと。

あとで執行部の方から説明はある訳ですけども、その中で教育関係は、答えは出ていますね、その書類上から見ますと。

東部中学校、田沢小学校、そういうものは、一般我々の生活行政と異なる教育行政というものは別の分野で議論をして、別の分野で守っていくという事になりますので、これは進んでいるようです。

他の、我々日常生活の中での行政のやり取りの部分は、まだ結論を得ている物は無いと言っても等しい状況ですので、皆さんから今後も議論をしていただいて、やはり精査をし、優先順位を付け、何が一番必要なのかという判断でこれからの議論をお願いしたいと思います。

以上です。

▶富樫地域振興課課長補佐

ありがとうございました。

続きまして、支所長からあいさつをお願いいたします。

(3) 支所長あいさつ

▶阿部支所長兼地域振興課長

おはようございます。

お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

酒田市も10周年を迎えまして11月6日に記念式典を挙行されましたけれども、委員の皆さまからも多数、出席いただきました。

どうもありがとうございました。

次の10年に向けてという事で進んでいくわけですけども、その前の5年の過疎計画の策定という事で、今年は地域協議会もその策定の関係もありまして、一回開催が増えると思います。

その他、定例的にしていくものも今回の議題になっておりますけれども、皆様方から十分なご協議をいただいて、より良い審議にして行きたいと思いますのでどうぞよろしくをお願いいたします。

(4) 議事録署名委員の選任

▶富樫地域振興課課長補佐

ありがとうございました。

続きまして(4)の会議録署名人の選任ですけども、定例的に名簿順の3回目、菅原長昭さんですけど今日欠席ですので、長谷部信勝さんをお願いしたいと思いますけれども、会長いかがいたしましょうか。

▶長谷部会長

いま、議事録署名人については事務局の方で、長谷部信勝さんの方をお願いしたいという意見がございました。

皆さんよろしいでしょうか。

それでは、長谷部信勝さんをお願いしたいと思います。

(5) 協議

▶富樫地域振興課課長補佐

ありがとうございました。

それでは(5)の協議の方に入りますけれど、座長の方を会長の方からお願いいたします。

①過疎地域自立促進市町村計画(過疎計画)の策定について

※現行過疎計画(平成22~27年度)進捗状況確認表

※次期(平成28~32年度)過疎計画に新たに盛り込む事業一覧

▶長谷部会長

それではただいまより、協議に移らせていただきます。

まず、①過疎地域自立促進市町村計画(過疎計画)の策定について、現行計画の22年から27年度進捗状況確認表という資料でなっていますので、事務局の説明をお願いします。

▶永田企画振興部地域振興調整監

▶阿部支所長兼地域振興課長

▶佐藤建設産業課長

- それぞれ資料に沿って説明 -

▶長谷部会長

それでは、いま説明をいただいた部分で、皆さん方から特に平田という文字の明記されてある部分になるかと思えます。

多少、八幡松山と関連性のある部分はあるかとは思いますが、今までの説明の中で、皆さんの地域に関連したハードソフト面において皆さんから意見があれば出していただきたいと思えます。

▶阿部(重)委員

防犯灯の関連で、現在蛍光灯からLEDに交換をしているが、自治会では経費負担が莫大でもたないという状況です。平田地区の過疎計画に盛り込んでいただきたいと思えますが、市当局としてはどう考えているのか、単独予算で取り組んでいくのかお聞かせいただきたい。

▶阿部支所長兼地域振興課長

現状については把握しています。まちづくり推進課でも過疎事業ではなく、国の補助事業などで対応していくことを考えているようです。防犯灯は3地域だけでなく、市全体の事業となるため過疎計画からははずれています。

▶阿部(重)委員

それでは、ある程度は分かりましたけれども、市としての考え方は支所の今のお話と同じですか。そのあたりをお伺いしたい。

▶阿部支所長兼地域振興課長

前々から、鶴岡方式だとか酒田方式だとか、それぞれ方式が違うとい

う事もあって、これから国の補助事業を受けるとなれば市が直接しなければならないという事も出て来るので、その辺でどのようにして行くか考えたいという話はきいたことがあります。

▶阿部（重）委員

もう一つ、今回3灯ほどLED化したのですが、実はLEDに交換すると、電灯の交換料22,800円のほかに、今の白熱灯からLEDに交換するための手数料が6,000円発生するため、なんだかんだで、一灯につき30,000円くらいかかります。

しかし、補助金が来るのは15,000円なので、半分も負担しなければいけないというのは、少し考えていただかないといけない。

いま私のところには35灯ほど街灯があるのですが、年間3灯ずつ交換していてもある程度予算をみておかないと更新出来ませんので、出来る限り早めに、これに対応していただくようお願いします。

▶永田企画振興部地域振興調整監

いま、阿部委員からあった話については、市の方にも要望の強いもので、市民部でもいま地域振興課長から話のありました通り、根本的なあり方を検討をして、なるべく住民の方の負担が少なくなるような方向にならないかも含め検討しているところです。

▶長谷部会長

初めに資料1と2に載っている事業について質疑をして、載っていない事業については、その後をお願いします。

例えば参考までに申し上げますけれども、基盤整備事業で鳥海南麓の負担金については完了となっているが、平田の5つの集落の災害対策は未着手の状況ですので、そういった部分において皆さんからご意見をいただきたい。

また、観光またはレクリエーションという部分についてもそうなのですが、観光施設連携強化推進事業については全地域未着手となっているので、これは今後の過疎計画の中に組み込んでいくという部分も出て来る訳ですから、新たに取り組む事業への意見などをお願いしたい。

そういうことで、この資料の中で皆さんが各々地域の中で、完了されているけれども、いやちょっと待てよというような部分があったらそれを出してください。

▶岩間委員

林道整備について、以前より要望していたところがある訳ですが、この計画の中に入っている場所というのは、私が要望していたところでしょうか、そのあたりを具体的にご説明願います。

▶佐藤建設産業課長

自治会からいただいた要望に基づいて上がっている訳ですが、岩間委員がおっしゃっていた場所と同じところです。

▶岩間委員

計画に載ったということで、事業を行うという理解でよろしいでしょうか。

▶佐藤建設産業課長

事業の実施時期につきましては、今後優先順位を決め実施していく予定になります。

▶岩間委員

分かりました。

長年の懸案事項ですので、よろしく願いいたします。

それともう一つ、集落の整備について学校等々関連事項が出て来るであろう、遊休施設活用事業ですけれども、地元負担などのベースとなる項目の調整を充分行っていただきたい。

例えば、山元地区の旧分館などは、地元でも大切な施設ですので充分協議をしてもらいたい。

▶永田企画振興部地域振興調整監

遊休施設の活用につきましては、その地域性や活用方法について検討が必要なわけですが、地元とも充分相談させていただきたい。なお、公共施設のあり方については、行政改革の方で検討を進めているところです。

▶阿彦委員

観光やレクリエーションについても予算もつき込まれていますが、来てもらう事はとても重要ですが、ただ来てもらうだけではなく、観光を事業化して地域経済促進がなされなければ、地域の人たちにとっては負担ばかりが増える結果となり、受け手にとっては何の意味も無く、ましてや継続していくことが難しい物であるとも言えます。

そういった意味で行くと、ハード的な予算ばかりが多く見受けられますので、ソフト面についても、確かに我々もソフト面と言われると難しい部分はあるのですが、ノウハウとかそういったものを経済にどう結び付けて行くかとなった時になかなか難しいものがあると思うので、そういったところも含めた形での観光の事業化というものを、官民一体となってやっていけるような施策というものをこれから作って欲しいと思っています。

▶佐藤建設産業課長

おっしゃる通りで、いくら整備して観光に来ていただいても、お金を落としていただかないと地元としての経済効果が無い訳で、昨日もふれあい商工会さんと商工観光部の会合がありましたが、そこらへんについて連携してやっていこうという事で課題としてとらえておりますので、おっしゃることを受け止めて、連携して進めてまいりたいと思います。

▶佐藤（鐵）委員

関連して、平田地区観光施設整備事業がありますが、具体的にどのような事業となるか伺いたい。

総合支所地域振興課の方で進めています交流人口拡大事業があるわけですが、そのなかの市内の小学生の自然体験学習が全部で生徒が5校で250名、先生や引率、関係者を合わせると大体300名、その他に4月に東陽コミ振が実施した経ヶ蔵登山がだいたい60名、それと先日、里山の会で実施したトレッキングでも50名、私に関わるものだけでも相当の人数が経ヶ蔵に登っている。

それに対して、経ヶ蔵の登山道の整備が進んでいない状況です。

今後5年間、地元も協力しますので整備を進めてもらいたい。悠々の杜についても、里山の会としては花王の補助をいただきながら整備をしています。市の方でも整備に力を入れてもらいたい。

▶佐藤建設産業課長

要望も伺っておりますので、観光振興課とも協議を進めていますが、十二滝についてはまず倒木の整理、遊歩道の整備などを、また、悠々の杜については、遊歩道、水場、かまどの整備を進めていきたい。

経ヶ蔵、胎蔵山の登山道整備については、既存予算の中で、地元の協力をいただきながら進めていきたいと考えています。

▶佐藤（鐵）委員

すべて市でしていただきたいということではなく、地元でも協力しますのでよろしくお願ひしたい。

▶長谷部会長

今この地域は、観光については大変な状況にあります。

ただそれが、住民の方々にどういう状況かというのはあまり出て来ておりません。

昨日も酒田の観光関係、酒田市からは安藤部長を筆頭に、市長も来ましたが、そしてふれあい商工会、さかたふれあい商工会と、そういう部分に絞った懇談会があり、そのなかでも観光資源の見直しをしていくことになった。

平田地域については、十二滝にはお客さんを迎えられる状況にはありません。地元でも議論していただきたい。他にありませんか。

▶石黒副会長

よく県外の方を迎えることがありますが、地元には宿泊施設がないのです。

例えばお客様が県外からいらっしゃって、十二滝だの、胎蔵山だのといった2日間にわたる観光ツアーが組めたら凄いいなと前から思っていたので、そういったことが出来るよう検討内容に入れていただきたい。

▶岩間委員

いま出ている経ヶ蔵、胎蔵山といった話に関連しますが、私たち胎蔵山口マン会も様々な活動をしている訳ですけども、まず交流人口を増やしていこうということでやっています。

その中で、お客様が来ていただければ、めんたま畑にもご案内しますし、山に登ればアイアイひらたや小林温泉にもお連れします、たまには我が家にも来ていただきます。

このあいだも県内の山を踏破している方がいらっしゃって、経ヶ蔵を登って、我が家に一泊して次の日は胎蔵山に登られたのですが、非常に気が合いました我が家に泊られた際に一緒に飲んだりした訳ですけども。

そういったことで、そういう長く滞在する方もいらっしゃいますし、来れば何か必ず落として行ってくれる。それを大きく利用するためにはやはり皆さん知恵を出し合って、宿泊施設ですとかそういう部分はやはり大事ではないかと思ひます。

地域の人口を増やすということは容易ではない事ですけども、まず

はそのための交流人口を増やすということが先決ではないかと思えます。

私の活動範囲で言えば胎蔵山などは、婚活などと絡めると非常にストーリー性があると思えますし、そういったポイントを押さえて上手く出して行けば結構来てくれるのではないのかなと感じています。

胎蔵山の整備については、市の方のご理解をもって材料費などをいただいたりしています。

そんな中で市の担当の方からは「縁結びの山として婚活登山イベントなどをやっていって1組でも決まれば十分に費用対効果はありますよ」と言われて、言われてみればそうかなと思って頑張っているところです。

やはり、そうやってみんなで意見を出し合って上手くPRなどをして、若い方から来ていただいて、出会いや、出来る事ならこの地域にとどまって頂ければ良いなという事で、その為の知恵を出し合っていくのが、いま集まっている方々の責務ではないかと思うのです。

是非とも、地域振興課と地域協議会の委員は知恵を集中して、平田地区の良さというものを知っていただく、来ていただく、利用していただくという事を、個人的な発想、組織としての発想、行政としての発想、いろんな発想を出して行きたいなと思えますし、この地域協議会とはまた別に、そういった発想を出す場に特化した会なんかも設けても面白いのかなという感じもしています。

そんなことで、まずは皆さん経ヶ蔵や胎蔵山、それぞれ住み分けなどがありますけれど、これからも知恵を出し合って、出来れば先ほどから話に出ている、地域を回れるくらい、今日はここ登って明日はここ行って、平田は面白いぞ、と、そういうふうに作れたらいいなというか、作るのが我々の役目というか、そういうことを上手くコントロールして行かないと地域の発展は無いかないかなと思えますので、今後とも皆さんよろしくお付き合いのほどお願いいたします。

▶長谷部会長

いまのお話に対して執行部何かありますか。

▶佐藤建設産業課長

ありません、おっしゃるとおりです。

▶長谷部会長

ほかにありますか。

▶池田委員

10月11日にジョグ&ウオーク事業がありましたが、インターネットなんかにも告知をしていましたし、いまはそういったもので告知をするとあちこちに情報が発信されるので非常に良い手法だと思いました。

それと支所だけでなく、平田の陸上をやられている方たちが協力したりですとか、食生活改善グループの皆さんがおにぎりや芋煮を作って提供したりですとか、一つだけでなく色々な団体が協力して実施したイベントで、とっても良かったと思います。

やはりこれからの観光は、先ほど会長さんもおっしゃいましたが、横の繋がりが無いと、どうしても盛り上がりには欠けますし、行政の方だけでやるというのは大変な事だと思うので、それぞれの団体がやれることに対して行政の方が、これをやってくれないか、手伝って欲しいんですけど、という形で発信していくのも大事な事ではないかと思えます。

そして、それに対して忙しいから受けられないということではなく、出来る範囲で出来る人たちがという事をやっ行って行かないとなかなか伸びて行かないと思います。

先ほど、自分たちでこういう事に特化した話合いの場合も必要ではないかという岩間委員の話もありましたので、私も大事な事だと思います。

それと、宿泊に関しましては、アイアイひらたや生涯学習センターなど既存施設に宿泊できるようにするのも大切なことと思いますので、ぜひ観光の目玉として前進していくような方向で検討して欲しいです。

方向を作っていくという事は大事な事だと思います。

▶長谷部会長

今の意見に対して、何か答弁ございますか。

なければ、意見要望という事で聞いておいてください。

そろそろ時間もだいぶ経ってききましたが、資料の内容に関連して、私の方から地域の方々に少しお伺いしてみたいと思います。

例えば、資料1の3ページ下から2番目の飛鳥堀野内線の改良について完了となっていますが、南平田コミュニティ振興会としては、これを完了と受け止めていいですか。

▶長谷部（信）委員

特に地域で話題に登ったことはありません。

▶長谷部会長

では、現状のままでよろしいですか。

▶長谷部（信）委員

それをここで決定する権限は私にはありませんので、地域に持ち帰って話し合ってみたいと思います。

▶長谷部会長

資料1の2ページ、企業誘致対策事業、松山完了とありますが、平田地域ではいらないのでしょうか。

▶永田企画振興部地域振興調整監

この件につきましては、松山工業団地が完売いたしましたので、完了とさせていただきます。企業誘致ということでは市内全般で進めてまいります。

▶長谷部会長

それからもう一つは林道の部分において、特に田沢コミ振さんにお伺いしたいのですけれども、鮭川線の要望はないのでしょうか。

▶岩間委員

田沢コミ振としてはそれほど話題には出ていません。

ただ、前回のこの会議でお話ししたかと思うのですけれども、あそこは今年、崖崩れでほとんど使えない状態で、私たちロマン会の活動にも支障をきたしております。

というのは、与蔵沼経由の真室川への旧山岳ルートを発見して、整備してもう20年程になりますけれども、区間を四つに分けて、毎年ひと区間ずつやらないと無くなっちゃうんですね、ルートが。

ですから、今年もやろうかとは思ったのですが。

脇の方にあるガードを除けて入っている方もいらっしゃるようですし、我々の会の中でも中に入ってしまうという声もあったのですが、何かあったら責任は誰が取るのかということでやりませんでした。

そういったことで、いろいろと影響がありますので、何かあったらすぐに手を打って頂きたいというのが本音です。

改良も大事ですけれども、整備対応については是非進めてもらいたい。

▶永田企画振興部地域振興調整監

今回の計画は先ほど建設産業課長が申しあげました通り、いろんな住民要望を受けまして、その中で優先順位を付けて次期計画に盛り込む事業をこのように案としてお出ししましたが、その後、熟度が高まるなどして変化がありました場合は、年度毎に見直しを致しまして、追加の事業も対応できますのでご了解いただきたいと思います。

▶長谷部会長

よろしいでしょうか。

▶岩間委員

はい

▶長谷部会長

時間もだいぶ押していますので、今までの部分で他にご意見ございませんか。

▶久松委員

資料1の3ページ、道路機能改善事業とは、どういう事業ですか。

▶佐藤建設産業課長

これは道路のオーバーレイ舗装事業になります。

道路に穴ぼこが空いていたりするわけですが、長い距離において一面舗装をするという事業です。

この中においても数事業起きていますけれども、平田の方でも各自治会等から寄せられた要望がありまして、三支所共にいろいろ要望ありまして、優先順位を土木課の方と協議をして、事業としてはこれですけれども、平田総合支所の分についてもこの中に含まれているという事です。

いわゆる道路の壊れた区間を舗装しなおす工事です。

▶長谷部会長

他にありますか。

無ければ、ここで5分間休憩します。

②新市建設計画の変更（計画期間延長）について

▶長谷部会長

みなさん、お待たせいたしました。

会議を再開いたします。

それでは次に、資料②の新市建設計画の変更（計画期間延長）について、執行部説明をお願いします。

※新市建設計画新旧対照表

▶永田企画振興部地域振興調整監

- 資料に沿って説明 -

▶長谷部会長

いまの説明について皆さん何かございますか。

- 特に質問はなし -

③平成28年度 平田地域づくり予算について

▶長谷部会長

無ければ平成28年度 平田地域づくり予算について、を議題といたします。

執行部説明をお願いします。

▶阿部支所長兼地域振興課長

- 資料に沿って説明 -

▶長谷部会長

いま説明ありましたけれども、特段何か意見ありますか。

正直言って、この部分の28年度事業計画と予算というものは一体で動くわけですから、良く見てください。

27年度、26年度、25年度、3年間くらいの活動予算と、28年度予算との比較対象をして、別に問題無かったのか有ったのか。

その辺からも判断をしていただければありがたいと思います。

▶佐藤（鐵）委員

支所長にお聞きしたいのですが、地域振興事業の（3）その他の事業、縄文の野焼き、これもあそこに教室がある訳ですが、担当する方に来年度はやらないというような話がありました。

それについて最近、窯用のガスボンベも外したようですけれども、これはもうやらないという考えなのでしょうか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

昨年度、婚活事業と併せて実施したが、平成27年度はないという事です。

27年度の予算を組む段階から外したという形で、今後もしまのところは実施しないという事であります。

▶佐藤（鐵）委員

そうするとガスボンベは外した、窯はある、建物もあるという状態ですが、あれはそのままにしておくという事でしょうか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

いまのところ具体的な方針等はございませんので、当面はそのままにさせていただきたいと思います。

▶長谷部会長

ほかにございませんか。

▶池田委員

前回もお伺いしたような気がするんですが、4のふるさと交流促進事業なんですけど、28年度予算は平田からの参加者をこちらから行くという事で、来年度なので変更はなかなか容易ではないかとは思いますが、このままこの促進事業を同じような形で計画しているのか、それとも前回、私だけじゃなくて何人の方からもお話があったように、相互に人口の交流を見るような事業にして行く予定があるのかどうか、支所長さんにお伺いしたいのですが。

▶阿部支所長兼地域振興課長

相互の交流という事になれば、向こうの会との打ち合わせは当然必要になる訳ですけども、まだ具体的にそこまで進んでおりませんので、28年度につきましては、いままでどおりの総会に出席するという形で計画をしております。

▶池田委員

28年度はなかなか難しいと思うのですが、29年度とかそれ以降もある訳です。

それを同じような形でもって行くのか、それともいろんな観光を専門とする業者等もあるので、そういうところを抱き込んで計画を立てながらやっていく気があるものかどうか、方向性だけでもお聞かせ願えないものでしょうか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

提案いただきました事業につきましてはたいへんいいことだと思いますけれども、相手がある事なので、これから28年度総会に行くわけですので、そこまで打合わせする時間が無いか分かりませんが、そこで役員の皆さんに声をかけて、出来るものはやりたいと思います。

▶長谷部会長

よろしいですか。

▶池田委員

分かりました。

▶佐藤（鐵）委員

ちょっとよろしいですか。

別に私、執行部ではありませんけれど、ただ参加をして、私の同級生も必ずそこで同級会をやる、私の兄弟も3名いますけれども、首都圏平田会というのは目的が全然違うのですよ。

地元と交流しましょうという目的は何も無いんですね。

地元に戻るのは自分たちで勝手に帰ればいい訳で、会として交流しましょう、地元と一緒に行きましょうという趣旨の物ではないと私は理解しておりました。

交流について否定はしません。

▶長谷部会長

参考意見としてお伺いするという事で、よろしいですか

▶阿部支所長兼地域振興課長

はい。

▶長谷部会長

実はこの平田会にもですね、正直言いまして酒田市になると、平田会だけじゃないですね。

八幡もあれば松山もあれば、他の旧町村においてもある訳です。

それで、昨日市長からもその部分については触れられました。

やはり、ただ交流という文章だけで、今までのようなやり方というのはいかがなものかなというのが市長の頭の中にはあるようです。

昨日言われたのはですね、市長も様々な形で出て行ってみると、北平田地域の餅の女鶴が非常に評判を取っているらしいですね。

それで、それを向こうで販売したら結構評判が良いんだと。

だから、ああいうものを持ち込んで、やはり大都会において田舎の農産品、まあ、六次産業化の一部として展開をしていきたいという、市長の頭の中にはあるようです。

ですから、昨日私びっくりしたんですけども、そこまで行けるのかなと思いましたが、市長は一か所一億売って、百ヵ所やれば百億になるなと言っていましたので、まあ、話半分にして50億でも良いですよ。

ただね、いま執行部の方で考えているのは、ただの人間交流じゃなくして、やはり地域の人口増、産業振興、少子高齢化の形でどういふふうなフィードバックをしていただけるか、この地域から出身者をもう一遍フィードバックしていただいて、それをこの地域の活力に貢献するような交流会に変えて行きたいと、こういうような意見もあるようですので、これからは皆さんから、是非そういう意見で行政と一体となって取り組んで貰えればありがたいな、と。

私も合併前からこの会合には出席しておりまして、よく町長にも行ったんですよ。

町長の挨拶のなかで、平田の米を食べてくれ、と。

水を送るのはちょっと効率悪いから送れないけれど、米は送るからぜひ平田の米を食べてくれ、とセールスをしたらどうなんだ、と意見を出したこともあるんですけどね。

これからはそれを実態の形としてやっていかないと、ただ交流、交流というのは、支所長も行ったから分かると思うけれど、結局向こうも参加人数が減っているんですよ。

前は、平田町単独の時代は全体出席で160人くらいはいたんですけども、いまや100人くらいなんですよね、だいぶ減っているんです。

ですから、東京の方の人たちの意識のありようも問題があるんですけども、これからただ集まって総会をして、平田音頭を踊ってハイ、さようならではなく、そこに産業振興、六次化の振興、それから人口交流、地域活性化という様々な、ふるさと創生も含めて議論の対象にして行かないといけないなというのが、昨日あたり市長の考えがあるようですので、その辺もみなさんに情報提供として出したいと思います。

他に何かありますか。

▶岩間委員

手前味噌になるのですが、ちょっと考えている事があるんです。

例えばこういう交流促進事業の流れの中で、例えばですけど、私、体

験そば打ちの出張などをやっていますけれど、大型バス50人分の全部設備はしている訳でございます。

例えば、婚活そば打ち大会ふるさと東京大会とか、例えばこちらから25人の独身男性を募って、向こうからは25人の独身女性を何か繋ぐ方法を考えて。

よく、テレビ何かだと婚活相手と呼びますけれど、逆にこちらから出かけていっても良いんじゃないでしょうか。

それで、そこでもって体験そば打ちをやってもらって、細く長く続くように、そういうキャッチフレーズで。

それで、そこではテレビの番組みたいにイエス、ノー出すんじゃ無くして、地域振興課で太田さんがやっているような、緩やかなタッチの、気に入った人の名前を書いてくれというような形で、そこから友達になって、交際に発展していく場合もある。

そういうようなイベントをやるとまた面白いのかな、と私は思っています。

そこには経済的な効果もありますし、あとはいろいろな交流もあるわけで、ただ行って飲んで終わる訳ではないので是非ともそういったことを市の方から考えていただきたいですね、これから。

とくに我々、老人になって来ますとそういう仕事がメンタル面で非常に良いのかなという感じはしていますので、是非ともご検討いただければありがたいと思います。

▶長谷部会長

執行部、どうですか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

ご意見として承りたいと思います。

▶長谷部会長

他にありますか。

▶藤原委員

5番の青少年国内外交流事業についてですが、平成28年度は先ほど話にもありましたように、市としてはこの継続云々を検討していくということになっていますが、実は平成10年か11年に私も岐阜県平田町との交流事業の中で団長として参加させていただきました。

あの時から、岐阜県の平田町との交流は曲がり角に来ているんじゃないかなというようなことで、これはこちら側の平田町もそんな考えでしたし、向こうの平田町さんもそんな考えでした。

そろそろ曲がり角に来ているしどうだろうかという事で、けれどもまたその後もずっと継続して来ている訳ですが、一つお願いとしてですね、酒田市全体の小学校の皆さんが、旧市ですけれども沖縄の今帰仁村さんとの大々的な交流があるのです。

全部の旧市の子どもさんから何人かずつ選ばれてというか、応募をされて、連れて行って向こうの今帰仁村の小学生と交流して同じ年に今度は冬の2月頃には今帰仁村の子どもさんたちがこちらにやってくるという事なのですが、その研修の内容が素晴らしく感動的なんですよ。

例えば摩文仁の丘に行って、平和の礎を見学したり、ひめゆりの平和祈念館に行ったりして、あそこで子どもたちは本当に涙を流しながら見

学するんです。

本当に、糸満の壕に実際に入って、子どもたちの作文なんかを見ても、こういう事だったのか、平和というものはこういう事だったんだな、戦争というのはいくことなんだな、という。

あの時も私、松原小学校で団長さんをさせていただいて、参加させていただいたのですが、もし、この岐阜の海津市との交流を見直すとすれば、平田の子どもさんたちも田沢小さん、南平田小さんの子どもたち、何人か、やはり旧市の子どもたちと一緒に今帰仁村との交流に入れていただくように強く要望していただけないのかなというふうに思います。

その研修の成果というのはもの凄く大きいです、子どもさんがたにとって。

帰ってくると子どもさんがたのものの考え方が、一回り大きくなったようなところがありありと見えるくらいの濃密な研修内容なものですから、是非ご考慮いただければと思います。

▶長谷部会長

執行部、今の意見に対して。

▶阿部支所長兼地域振興課長

検討についてはこれからの話になりますが、今の件についても十分に取り入れながら検討させていただきたいと思います。

▶藤原委員

はい、よろしくおねがいします。

▶長谷部会長

それから昨日の懇談会の中で出たのですけれど、酒田市というものの認知度がひじょうに低いんですね、関西、関東含めて。

これが非常に低いというイメージを持っているんですね、私も前に大阪に行って説明したことがあるのですけれど、なかなか酒田市、庄内平野がここだと言っても理解してくれないのですね。

鳥海山と言っても、え、そんな山あるのと。

それで何で理解してもらったかという羽黒山、出羽三山を言ったらあそこが庄内平野かというくらいの調子しかなかったのです。

ただもう一つ、このあいだも話になったのですが、酒田市、合併しているから酒田市という表現をしますが、子ども時代に自分の方にどういいう誇りのものがあるか、これが学校生徒のうちに子どもたちに教え込むといつか体験をさせると。

そうして社会に出て行った時に、うちはこういうような地域でこういう産業があり、こういう観光資源があり、こういうところだよと言えるような子どもの教育をわたしはやっておかないとこういう地域の認知度は上がらないなと思うんです。

いままでほとんど皆、学校を卒業すると大都会に出て行って働いている訳でそれが原因として少子高齢化とか限界集落という状況を作り出している訳ですけれども、子どもの時に自分の住んでいるところがどういいうところかということをもまず子どもさんがたに理解をしていただいて、卒業したら会社の同僚にうちはこういうところで、こういう自慢があるんだというような環境を整えてもらえればなど、これは教育委員会の分野に入るのですけれども、そういう事も思っています。

それでは、この4番について他に皆さんのご意見ありませんか。

- 一同反応無し -

④地域課題について

(平田地域協議会から出された意見・提言に関する対応調査)

▶長谷部会長

だいたいこれで皆さんの意見を聞き取ったという解釈でよろしいですか。

それでは次に移らせていただきます。

では次は、地域課題について(平田地域協議会から出された意見・提言に関する対応調査)ということで説明させていただきます。

▶阿部支所長兼地域振興課長

- 資料に沿って説明 -

▶長谷部会長

いま説明をいただきました。

この一覧表について皆さんはどのように受け止めますか。

これは平成17年度から現在までの地域協議会委員として継続されている方がいればまた判断は違うのでしょうか、だいたいメンバー構成も変わっていると思います。

先輩委員の方がやったものもありますし、我々が実質いま、議論の対象にしている部分もあるわけですが、この一覧表を見てどう感じますかということです。

それで、最後のこれまでの対応と今後の対応というところに文章でそれなりの表現がされております。

この表現について皆さんからどう受け止めていただけるかという事ですね。

ただ私から見ますと、3番目の中間地域の活性化、ここの部分における隣接地の活用ということに来ますと、これは生涯学習センターのところに入ってくるとすれば、答えが出たのは高畑中学校の整備、グラウンド整備ですね。

いま、グラウンドゴルフ場に整備されて、相当皆さん活用されているようです。

あれは結果が出たというものです。

それから中学校の統廃合というのは、これは先ほど私がいさつで申しました通り、一般行政の中の我々の生活というよりは、基本的な教育委員会の方針の中でやっていくので、関係ないとは言いません、当然ありますけれども、答えとして進捗ははっきりと出ている。

それから田沢小学校のありかたというものについては、ある程度の耐震診断はしている訳ですよ、まだ校舎のほうは新しいから問題はそんなにない訳で、体育館ですから。

そういう部分に見ますと、小学校の有り方についてはある程度の答えは出たのかなという感じで捉えていますけれども。

あとは高速道路と県道の接続というのは14日に開通する訳ですから、皆さんの手元に写真入りの資料が載っているものが配布されています。

これはこのあいだ、行政と地域のコミュニティとか様々な代表者を入れて、現地研修と言いますか、それを実施いたしました。

ここに参加された方々もおる訳ですので、参加された方々からもし意見があれば。

私も正直言って酒田交通安全協会の立場として皆さんの意見を聞いておきたいなと思っていますけれども、何か意見ございますか。

▶岩間委員

個別案件でもよろしいでしょうか。

いま田沢小学校のあり方について、ということでありましたけれども、いろんな意見が聞こえて来る中で、このあいだもPTA会長と会う機会がありまして、いろいろ聞こえるがどうなんだと聞いたところ、それはあくまでも噂で、実際には何も決まっていなかったと言っていましたけれども、実質のところここで言える状態なのかも分かりませんが、田沢小学校というのはもう、正直言って合併ありきで進んでいるという認識でよろしいのでしょうか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

詳しい事は分かりませんが、統合という話はいまのところ出ていないと認識しています。

いまの耐震診断が終わった時の協議会の質問でも出て、診断してからどうするのだというような意見があったのですが、学校として存続していく以上は危険なところは修繕していくということを協議会でも答弁されていまして、いまのところは何も統合については進んでいないというふうに思っています。

▶長谷部会長

という考えのようですので、どうでしょうか。

▶岩間委員

わかりました。

PTA会長の言う通りのようです。

それから、会長の方から逆質問受けました余目酒田線。

やはり、先ほども皆さんと話していたのですが、冬場は恐らく事故があるでしょうね、と。

あの下りるあたりとかは必ず凍りますよね。

そこをいかにして防ぐかだと思います。

間違いなく起きます、そう感じました。

▶長谷部会長

はい、14日まず開通してみると体験する訳ですから、様々な部分は出て来ると思います。

そういう時に行政の方にこうこうこうだ、ああだという希望があれば提案をしてください。

我々もそういうものは受け止めて議論をしていって、なるべく事故の起きない方策をとりたいと思っていますので。

まあ、根本的にお金をかけてやれば相当の事も出来るのでしょうかけれど、このあいだの説明においてはなかなかそういうのも出てこない。

現状ありきで行って、安全は一人ひとりが気をつけるものという大前提で押さえられておりますので。

それでも、いわゆる高齢者の事故というのはいま現在でもかなり高く

なっております。

逆走というものはどうやって防ぐのかという問題もあります。

ですからやはり、一人ひとりがあそこを通った時の感覚・感想というものを発言していただかないと、改良、改善にはならないと思いますので、その辺もあればお願いしたいと思います。

▶岩間委員

あのインターを下りるところだけでも消雪道路に出来ないものですかということで要望しておいた方が良いと思いますが、無理ですか。

▶長谷部会長

これは設計段階からならなるんでしょうけれど、今からではなかなか彼らはうんとはならないです。

▶岩間委員

2、3回事故が起きてから分かるかも知れませんね。

▶長谷部会長

いのちと引き換えではちょっと困りますね。

▶佐藤（鐵）委員

仁助新田地区の具体的な事業の展開の中で、隣接地の活用という事で恐らく具体的なところは、私は全くの残土置き場なのかなというふうに認識しているのですが、あそこの草刈りも年2回、シルバー人材センターで刈っていますけれど、子どもたちがキャンプでテントを張る芝生の延長部分を田圃まで、我々独自に草刈りをしているんですよ。

前は荒れ放題で、柳の根っことかいろんなものが有ったんですけど、全部掘りだして。

ただあそこは平らでないものだから、残土をあそこの部分だけでもキャンプをする芝生の田圃までの延長の部分の幅を何とか残土を利用して平らにしてもらいたい。

それで、石もごろごろ入っている物だから、草を刈る時のウイングモアの刃も一回でダメになるんですよ。

できればそういう整備を計画してもらえればありがたいなと。

全体で無く、あくまでも子どもたちがキャンプをして、キャンプファイヤーなんかをして、夜そこで飛び回る訳ですから、やはりそういう危険な状態には出来ないと思って我々も年に何回か草を刈って、出来るだけ草は生えさせないようにやってはいる訳ですが、何といたってもデコボコがあるものだから、出来ればあの分だけでも残土を利用して平らにしてもらえればありがたいなと要望します。

▶長谷部会長

いまの意見に何かありますか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

要望としてお聞きしておきます。

▶長谷部会長

それでは、このことについて執行部のほうで何か補足説明有りますか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

いまの場所について、その他でお話しさせていただきます。

(6) その他

▶長谷部会長

他に意見が無いようでしたら、時間も時間ですので、その他の方に移りたいと思います。

▶阿部支所長兼地域振興課長

生涯学習センターの西側、資料はございませんが、いま佐藤（鐵）委員からお話された場所の関係ですけれども、管財課の方から願われて、県道までつながっている訳ですけれども、酒田市内の企業の移転先の候補地として企業のほうから打診があったという事です。

その会社については食品関係の会社だという事ですけれども、場所の決定の条件として地下水を使いたいという事で、良質の水が出るのが条件だということで、試掘をしたいという事なんだそうです。

そこで管財課の方から言われたのが、平田地域の地域ビジョンを平成23年度に作成をしている訳ですけれども、その中のビジョン4というところで、交流人口の拡大というところがあります。

その実施すべき施策というところで、中山間部における活力の向上と、地域に根差した活動の活性化に向けたひらた生涯学習センターの機能強化ということで、スポーツ、合宿、自然体験学習等の拠点施設として、隣接市有地と合わせた一体的な整備というふうはこのビジョンの中に掲げているのです。

それで、このビジョンの作成者が地域協議会という事になっておりますので、いまその試掘を許可するという事は、企業の方でいい条件であれば売り渡すよという形になる訳なので、いままで地域協議会としてビジョンをもとに話をしてきたことと違う方向になってしまうので、それらについて委員からご意見を伺ってくださいというふうに言われました。

希望としては8,000平米程度の面積が欲しいというような事を聞いていますけれども、皆様方からのご意見をお願いしたいと思います。

▶長谷部会長

いまお話しありましたけれども、この一覧表の中では三番目に隣接地の活用、合宿棟の充実とかそういった文章でずっと載っていて、ここの地域協議会で平成26年度まで丸印が付いている訳ですけど、ここに来て大きく方向転換の可能性が出てきたという事で、この地域協議会でこれくらいの年数を重ねてきた課題でもあるので、この協議会から意見をお聞きしたいという事です。

突っ込んだ話を、この段階でやるのはいかがなものかなとも思いますけれど、山間地域の活性化という判断からすれば、支所長の説明の通りそれなりの良い水が湧き出たとなれば当然そこに工場というところが出て来る訳なんで、私は仁助新田のあの場所を拠点とした山間地域の活性化は相当図られるのではないかとということで、私個人的にはそういう思いを抱いております。

ただもう一つ、執行部の方々には大変耳触りであまりいい表現ではないと思いますけれども、ここの部分について平成17年から26年度までずっと議論をしてきていますけれども、行政側からの対応としての答

えは出ていないのが現状だと思います。

でも、皆さんからの意見は様々なものが出ているということは事実です。

ですから、そういうものを判断して、中山間地、限界集落、少子高齢化、経済の活性化という判断から見たら、この協議会でどういう方向性を出すのかという重要な課題になってきたのかなというふうに私は考えております。

それで皆さんにお諮りをして、忌憚のない意見をいただきたいというのが今日の最後の課題になります。

▶佐藤（鐵）委員

いま、支所長からあった説明だけでは、具体的にどのような金額なのか分かりませんが、水は相沢川、中野俣川の伏流水ですから悪いものは出ないと思いますけれど、ただ、どういう内容の工場か分かりませんが公害というような、例えばあそこには農業排水がある訳ですから、当然地域の地権者がどういうふうになるか、いろんな調整がある。

あともう一つ、仁助新田の保育園が合併して、あそこの空き地、それから前の診療所の辺がどうなるのかという事で、もし大きな工場が経つとなると、農道を挟んで生涯学習センターと隣り合わせになるということで、公害であるとか騒音であるとか、いろんな問題が出て来る可能性があるとするれば大変な事だなと。

それは活性化を図るためには地域の雇用も増えるだろうし、良い事だとは思いますが、生涯学習センターのいまやっている自然体験学習であるとか、あるいはいろんな地域から合宿に来ていて、相当利用数も増えている事ですから、その辺の調整がどうなるのかというところがありますが、まあ、その企業、会社の内容が分からない事にはどうにもなりませんけども。

そここのところが心配される部分が出て来るのかなと。

▶後藤委員

その場所というのは、大体面積はどれくらいですか。

8,000平米くらいですか。

だいたいどれくらいの感じ。

▶阿部支所長兼地域振興課長

遊休地のところで約1町歩くらいあります。

▶佐藤（鐵）委員

1町歩で効かないくらいあるかも知れませんが、仁助新田保育園をどうするかで。

▶阿部支所長兼地域振興課長

保育園は今の遊休地の中には入っていません。

ただ、それも最終的には含まれるかどうか、時期的なところもあるかも知れませんが、解体そのものもすぐやるのかどうか分からないところですけど。

▶佐藤（鐵）委員

では、保育園はいものところそのままということ、農道と県道の

あいだの、ありますよね。

1町歩といたら、だいたい10,000平米ですから、使うのが8,000平米だとしても、まあ十分に間に合うという。

▶阿部支所長兼地域振興課長

そういうことです。

▶長谷部会長

そこにはもう一つ課題があるのです。

というのは、農協のATMですか、あの稼働率が低くて撤退をしたいという意見も出て来ているのです。

それで、私もいま農協の支店長と行政の方々と話をしていますけれど、どうしても、いまは40何点と言っていました、それを60点くらいまで高めてもらえれば何とか残すことが可能なのかなというJAの判断のようです。

ですから、それを高めるために何か方策が無いかという事で、JAさんとも議論をし、行政とも議論をして、例えば生涯学習センター。

あそこに移設をしたら、少しは利用率が高まるのではないのかと、いう話も起きています。

そうした場合、行政側では生涯学習センターのほかにもめんたま畑にもありますので、ダメではないという判断になっています。

そういう環境の置かれている中で、そのものも含め、そういう活動的な部分が展開出来れば、そういう問題もおのずと解決していくのかな、と。

要は仁助新田を中核にして、山間部の将来構造を描くのかということになって来るんだと思います。

これもいま佐藤さんからお話があったように、どうかたちでどう内容をどうするのかというのが分かってこない、具体的なものにまだ我々も言及できない訳ですけども、ただ、そういう希望が来ているというのが現段階な訳で、この会合で皆さんがまず井戸掘りの調査ぐらいは認めましょうと。

それで、その結果はまだどうなるかまだ分からない訳なので、いまのところはそういう部分なのでしょう。

▶阿部支所長兼地域振興課長

そうなのでですけども、何箇所か候補はあると思いますが条件の良いところといますか、ここについて言えば条件は水だけだということなので、水が良ければ来たいというふうになるので、掘るのを許可したのに、良い水が出ても売ることにはならないとなると、それはそれでちょっと。

▶長谷部会長

そこはね、まずは掘らせる、と。

まずはやってみましょうという考えで、やっても水が悪ければ企業自ら来ない訳だから、良いという事が前提になる訳ですね。

だから、そうなったときにその先の譲渡でしょうね、そういうところまで視野に入れて皆さんの意見を出していけるかという事だと思います。

井戸は掘らせた、水は良いんだけどやっぱり土地は売れないというのはやれない手法なので、井戸を掘っても良いよという皆さんの意見が

主体を締めれば、当然良い水が出れば企業はそこに張り付きたいという希望は持っている訳ですから、そこも理解の上で議論をしていただきたいなと思っているわけです。

▶佐藤（鐵）委員

その企業はどのような内容の企業なのですか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

その企業に関しては、名前も言っていないとは言われているのですけれども、話が独り歩きすると困るので控えています。

業種としては、酒屋さんです。酒造業。

▶佐藤（鐵）委員

それであれば、騒音であるとか公害が出るといった類のものではなさそうですね。

▶阿部支所長兼地域振興課長

酒屋さんに勤めたことが無いので、恐らく、としか答えられませんが、そうだと思います。

▶長谷部会長

余談になりますけれども、前の高畑中学校が山の上にあった時代に、あの山の上にそういう企業が出て来たいという時代もあったのですよね。

あの山の上は2町歩とかそのくらいあるんだそうですね。

▶阿部支所長兼地域振興課長

昔、製薬会社の話がありました。

▶長谷部会長

そうでしたね。

製薬会社が出て来たいという話。

それはなぜかという話になったときに、やはり水だったんですよね。

あの話が決まれば、平田町に製薬会社が出来ていた。

他に何かありますか。

▶藤原委員

問題はですね、いまこちらの地域の地域ビジョンという形でずっと十年來、隣接地の具体的な利用に関する要望は出してきたのですが、この先、市として何らかの具体的な整備をする計画というか、気持ちがあるのかどうかというところで、あるというのであれば、今回の相談の件はちょっと待てよという話が出来るんだろうけれども、それが上手くいかないままそのまんまになって、結局草ぼうぼうになるようだったら、どうなっているのかなという思いになります。

そこは市がどう考えているのでしょうか。

▶長谷部会長

これは私が答える部分ではないのだけれど、我々地域協議会としてずっと見て来ましたが、これくらいの年数が経っている訳ですよ、丸印のついた年数がその歴史です。

でもまだ答えは出ていないんですよ。

正直に言って、執行部の皆さんには申し訳ないけれども、こういう形を残していても、出て来るのはこういう形しか出てこないと思う。

というのも、人口が増えていないので投資効果が薄い訳だから、それはやはり行政であっても考えると思いますよ。

人口が多くて必要なものであれば行政はすぐにでも手を付けますが、人口が無くてどうしようかという段階の中で全天候型グラウンドといってもね、そりゃ、よそからも来るよという議論は出来ますが、効率的にどれくらいなのかという保証は何も無い訳ですので、我々住民サイドから考える部分と行政サイドから考える部分では相当開きがあると思うんです。

だから新聞で表現されたように、行政と経済界の一体感が非常に薄いのが酒田だと言われる所以はその辺にあるので、この辺で一体になって地域の発展を考えるとすれば方向転換もありうるのかなという気がします。

▶佐藤（鐵）委員

テニスコートは土日は、ほとんど空き間がありませんね。

一つのグループが独占しているような状態で、我々も調整に困っているのですが。

二面全部使うとしても、申し込みがあったら1面だけは返してくれよ、という方向付けでやっています。

ただやっぱり、2、3人で楽しむ、片やコーチがいて学生たちがワンワンいる中で、自分たちがテニスを楽しめるかといとなかなか難しいですよ。

そんなことで一般はなかなか、よっぽどの平日でないと利用できないという状況で有ります。

ただあそこの一角に、文化施設をそういうの何か作るのであればまだまだスペースはありますから、十分に、例えば企業に売ったとしてもまだまだ十分にある。

昔の診療所もあのままでしょう、物置になって。

それに保育園のところだって、利用するあてもいまのところ無いので、相当スペースがある訳ですよ。

▶岩間委員

先ほど農協のATMの話が出ていましたけれど。

そもそも、農協のあそこの敷地も利用価値があると思うのですよ。

これは農協とも詰める必要がある訳ですけど、あそこは今のところこれと言って何も利用価値はないわけでございまして、ただあそこも解体費用だなんですぐにはやれないかな、ということだと思いますけれども。

ATMそのものも、SS撤退して、支店撤退して、そんな経済効果だけで言っているから、阿部総理から足元をすくわれる。

そういう事をずいぶん前から言っていたんですけれど。

ATMのちょっとした赤字くらい、いくらでも背負っていいんです、農協なんか、単なる法人です。

地元理事に徹底的に頑張れと私は言っていますが、上のサインが出ないからダメだなんて言っています。

流れとしては、どのくらいの規模の酒造会社が来るのか、それも分か

らない訳ですけれど。

いまの段階ではゴーサイン出してもちょっと無理だと思いますけれども、やっぱり2、3回の打合わせをして結論を出さないといけないのだとは思いますが。

選択肢としては今の隣接地と、先ほどから言っている保育園跡とか、診療所跡とか、あるいは農協のひらたJA跡、いろんな選択肢があると思います。

その辺のところをどこまで詰めて話しているのか、そこらへんはいかなものですか。

全然ノータッチですか。

▶長谷部会長

そういう表現上においてノータッチというと全く関知しないという表現になりますので、そういうものではないと私は思っています。

これは他人の部分で、我々が言及する所ではないと思うのですけれど、あそこの財産もJAの財産で、あれを将来どう活用するのかという部分が当然出て来るのですよね。

それから前の診療所だって町有財産だから、あの部分をどう活用するのかと、私も議会で一度指摘されて、塩漬け財産という表現を使ってだいたいひんしゆくを買ったことがあるんですけども、正直言っていっぱいあるのですよね。

これは何の目もかけていないというのが現状なのです。

だからこれを活用して、少しでも財源の補助的対処が出来ないのかと議会で議論したことがあります。

でも、塩漬けという表現をしたのが馴染まないということで、だいたいひんしゆくを買った経緯がありますけれど、実際はそうなのですよね。

ですから、私は今のこの話を良い悪いとは表現しませんが、皆さんの総合意見として方向性を出して貰えればありがたいなと思います。

▶岩間委員

ですから、その一角として発言しているのですけれど、隣接地が将来的に何か使える要素があるとするならば、例えばいま空いている所がいろいろあるわけですので、そこに掛け合っているような事を。

水は同じだと思います、場所的にあそこは。

JAであっても同じ水が出て来ると思います。

それを含めてかけあってみても良い場面が出て来るのではないのかなという感じがするものですから。

いまのところでは渡された資料だけでは分からないような気がするものですから。

▶永田企画振興部地域振興調整監

一つはまず、市の公共施設の方の整備の考え方なのですが、去年から市の所有する公共施設について、整備の長期計画といいますか、見直しをやっているのですけれども、水道管だとか下水道管なども含めてですね、今後40年間でかなりの金額が必要だと。

いま建っているものの更新も含めてですね、既存の施設に関しては更新するかどうかというのは非常に大きい課題になっておまして。

それは、いま会長さんからの話にもありましたとおり、人口が減って税収も減る中で財政的には今後かなり厳しいものがあります。

そういったなか、このままのものを維持するのはまず無理だという話の中で、将来的な整備をどうするかということは今検討しているところであります。

従いまして、新しい施設についても必要なものは整備しなければならないのですが、その必要性があるかどうかという事と、それから市内の中でどこに整備するかという事もあります。

ですので、具体的なものが決まってくれば場所の選定とか、いろいろな検討に入っていく訳ですけれども、いまのところは必要に迫られて施設を整備するという具体的な構想はありません。

ご存じの通り、駅前も大変苦慮しているような状況ですので、そういった結果として会長さんからお話しあったように要望はいただいているのですが、なかなか活用方法が決まっていないというような現状があるということをもまずご理解いただきたいと思います。

それから、企業の希望は企業が独自に場所を選定して、こちらという事で来ていますので場所については企業と交渉するという事は考えられないというふうに思います。

その中で、ボーリング調査をさせてくれという話をいま頂戴しているというような状況だと思いますので、その辺をご勘案いただいてこの件に関してご意見を頂戴したいと思いますので、よろしくお願ひします。

▶長谷部会長

調整監の方からもそういう意見が出ました。

どうですか皆さん、賛同いただけますか。

▶後藤委員

ちょっと確認ですけれどもよろしいでしょうか。

ボーリング調査というのはあの場所のみということで考えているのでしょうか、企業の方は。

そして、生涯学習センターの西方の場所に建物、あるいは駐車場なども含めて建てるというつもりなのか、それともそばの田んぼなども含めて考えているのか、どうでしょう。

▶永田企画振興部地域振興調整監

具体的な所は企業の方から私も直接伺っていませんが、商工サイドから聞いているのはいまの、隣接地の土地に出来れば進出をしたいという前提にボーリング調査を一度やらせて欲しいとの事です。

結果が良ければ次の段階、つまり譲ってもらいたいという話が出て来るのだらうと思いますので、いま、ボーリングを許可するかどうかという事は、そのことと譲るか譲らないかは一体の件ではありませんので、次の段階で企業との交渉という話になるわけですがけれども、作業の段階においてはなるべく企業の要望に沿いたいという、市の商工サイドの話もございますので、必ずボーリングをして結果が良好だからイコール、市としてあの土地を譲る、譲らないというところはいまの段階で決まっている話ではございません。

結果を踏まえてまた協議になるのだらうと認識しておりますので、その辺でご理解いただきたいと思います。

▶阿部（重）委員

最後に一つ。

事業所の方で必要面積 8,000 平米という事でしたけれども、隣接地から 8,000 平米取った場合はいまの学習センターのところから、どのくらい西側まで行くかたちになるでしょうか。

残地がどれくらい残るか、その距離的な部分が心配なものですから、教えてください。

分かる範囲で構わないので。

▶永田企画振興部地域振興調整監

それも併せて、もし決まれば設計の前の協議と言いますか、考え方を伺って、あるいは地元の意見を聞きながら、どういう配置にしてもらいたいという交渉になると思いますので、現在のところはどの時点でどうだという話は多分伺っていないと思います。

その面積とか企業の方で考えている部分はある程度伺っているのですが、もっと具体的な話の方になるとまだ担当課の方でも聞いていないと思いますので、今後結果に基づいて話が出て来るのかなというふうに思っています。

▶長谷部会長

ですから、現時点においてはボーリングを許可するか、認めるか。

同じ意味ですけども、そこです。

どうですか皆さん、特段の反対はありませんか。

▶委員一同

異議なし。

▶長谷部会長

それでは、地域協議会としてはボーリング調査を認めるという意見になりましたので、そのようにお願いいたします。

その他に何か最後、ありますか。

▶阿部支所長兼地域振興課長

最後に一つだけ。

先ほど見学会の話になりましたけれど、これは歩行者、自転車用の案内ですので、このあいだ説明がありませんでしたので追加資料としてご覧ください。

▶長谷部会長

この道路に関しては、分からない事がありましたらその都度、建設産業課の方に聞いてください。

事故が起きない事が何より大事ですので、分からない事は十分に聞いてください。

それでは終わりのあいさつを副会長の石黒さんをお願いします。

(7) 閉会

▶石黒由香副会長

長い間大変お疲れさまでした。

地域に持ち帰って、あるいは各団体に持ち帰って、検討の余地のある課題も沢山あったと思いますので、次回までどうぞ検討ください。

それでは、これを持ちまして平成 27 年度第 3 回平田地域協議会を閉

会いたします。
お疲れさまでした。

会議録署名委員 長谷部 信勝

